



公益財団法人

電気通信普及財団

The Telecommunications Advancement Foundation

電気通信普及財団レポート2023



CONTENTS

電気通信普及財団レポート 2023

1. 理事長からのご挨拶	4
2. 助成・援助活動	5
1 研究調査助成	5
2 海外研究・特別講義開設援助	12
(1) 特別講義開設援助	12
(2) 長期海外研究援助	12
(3) 海外渡航旅費援助	13
3 普及・利用促進活動援助	14
(1) シンポジウム・セミナー等開催援助	14
(2) 学術研究出版助成	16
(3) 国際交流人材育成援助	17
(4) ネット社会課題対応援助	17
3. 表彰事業	18
電気通信普及財団賞の概要	
第38回電気通信普及財団賞 受賞著書・論文	
・テレコム人文学・社会科学賞	
・テレコムシステム技術賞	
・テレコム学際研究賞	
・テレコム人文学・社会科学学生賞	
・テレコムシステム技術学生賞	
・テレコム学際研究学生賞	
第38回 電気通信普及財団賞贈呈式 / 2022年度 助成、援助金贈呈式	27
4. これまでの活動実績	32
5. 決算報告	34
(1) 貸借対照表	
(2) 正味財産増減計算書	
6. 2023年度 役員、評議員及び審査委員名簿	36
理事・監事・評議員・審査委員	

1. 理事長からのご挨拶

公益財団法人 電気通信普及財団 理事長 秋本 芳徳

日頃より私ども電気通信普及財団の活動をご理解、ご支援いただいている皆様に深く感謝申し上げます。

当財団は1984年9月に電電公社（現在の日本電信電話株式会社）からの出捐を受け、郵政大臣の許可を受けて設立されました。2013年4月には内閣総理大臣の認定を受け公益財団法人に移行しております。

設立以来38年にわたって公募による助成援助及び表彰事業を行い、2022年度末までに電気通信普及財団賞は868件、約2.8億円の賞金を贈呈し、研究調査助成及び援助事業は9,183件で、約90.8億円の助成・援助金を贈呈してまいりました。

表彰事業である電気通信普及財団賞では2021年度に新設したテレコム学際研究部門について、2年目となる本年度もテレコム学際研究賞として25点を審査し6点を表彰、テレコム学際研究学生賞として3点を審査し3点を表彰しました。情報通信分野における学際研究は今後益々重要性が増すことから、その後押しができればと考えております。

公募による助成援助事業全体では、2022年度においては、国際関連を中心に新型コロナ禍の影響からの回復傾向が見られ、前年度を30%上回る148件、1.9億円を採択いたしました。

電気通信普及財団賞、助成援助の選考に当たりましては審査委員長はじめ各審査委員、表彰専門部会委員の皆様のご多大なご尽力を賜りましたことに、改めて御礼申し上げます。

情報通信は、社会経済の効率化からIoT、ビッグデータ、AIを活用した社会的課題の解決や価値の創造への寄与へと、今後の社会、経済の発展に欠くことのできない存在となっています。今般の新型コロナ禍のもたらした緊急事態という未曾有の状況において、人々の移動と対面でのコミュニケーションが著しく制限されざるを得ない中、情報通信はテレワークなどにより経済社会活動を支え、社会全体の課題の把握と解決策に大きく寄与することが示されました。

今後も、より多くの研究者の方々に、この電気通信普及財団を知っていただき、研究活動への支援の選択肢として、当財団の事業の活用を加えていただくことを念願しております。当財団としても、情報通信分野の研究活動の幅広い礎となれるよう、今後も工夫と努力を重ねてまいります。私ども電気通信普及財団の活動に対しまして、引き続き皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

2023年7月

2. 助成・援助活動

1 研究調査助成 [援助期間] 2023年4月～2024年3月

(概要)

2022年度募集の研究調査助成については、申込件数は150件、申込額は2億2478万円の新規助成申込があった。

審査委員会による審査を経て、新規申込のうち75件、1億2063万円が助成案件として採択された。内訳は、人文学・社会科学分野では、19件、2471万円、技術分野では、34件、5037万円、両分野にわたる研究では、22件、4555万円となっている。

また、過年度採択の継続分として、19件、2146万円の助成が認められ、全体では、94件、1億4209万円が2022年度の助成案件として採択された。

コロナ禍前の2019年度における助成は、108件、1億4537万円であったことと比較すると、コロナ禍前の水準に回復して来ている。

申込件数は約15%増加し、コロナ禍前の水準には及ばないものこちらも回復が見られた。採択率は前年同様に高い水準となっているが、ポストコロナに積極的に対応した質の高い意欲的な申込が多く見られた。

採択された調査研究のテーマは多岐にわたるが、今後求められる次世代通信システムを支える要素技術の研究、ソーシャルメディアが社会システムに及ぼす影響や、情報通信手段をパンデミック対策・防災や情報セキュリティ、教育などの今日の重要課題解決に役立て、応用するための研究などが数多く含まれている。

人文学・社会科学分野

〈敬称略〉

合計 **22件** **26,699千円**

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
法政大学 経営学部 教授 大木 良子	パネルデータによるデジタルプラットフォーム市場の競争メカニズム解明	900
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 (科研費研究機関番号:84504) 人と防災未来センター (科研費研究機関番号:004) 主任研究員 伊藤 潤	災害情報共有システムの統合および標準化に向けた政策的課題に関する研究	382
静岡県立大学 経営情報学部 講師 松岡 清志	自治体におけるデジタル・トランスフォーメーション政策の波及・移転に関する研究	781

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
国立大学法人東北大学 大学院情報科学研究科 人間社会情報 科学専攻 メディア情報学講座 メディア 文化論分野 特任助教(研究) 王 楽	東京圏チャイナタウンの空間変容とネットメディア・ソーシャルメ ディアに関する研究：東京都池袋地区を対象として	637
東北学院大学 教養学部 准教授 井川 純一	インターネット上の匿名他者のコメントによる社会的影響 YahooとYouTube のコメント機能に着目した実験的検討	1,895
大阪市立大学大学院 都市経営研究科 博士後期課程 阪西 洋一	地域不動産における自律分散型プラットフォームの社会経済価 値に関する分析	2,254
東北大学 大学院情報科学研究科 准教授 河村 和徳	非言語情報としての「声」の質が政治的選択にもたらす影響に関 する実証分析	1,260
聖和学園短期大学 保育学科 准教授 上村 裕樹	子育ての社会化を図るための“保育ICT”の活用(延長)	2,222
日本大学 経済学部 助教 江上 弘幸	ビデオゲームがメンタルヘルスに与える影響の解明：自然実験と 機械学習を用いて	1,350
星槎大学 中島研究室 特任教授 中島 功	パンデミック環境で医療側が求める情報通信技術、非対面診療 の課題と効用	1,840
岩崎学園情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 准教授 稲葉 緑	信憑性を意識していない状況で情報の虚偽に気づく認知機序の 解明	1,271
東洋大学 経済学部総合政策学科 准教授 加藤 綾子	デジタルプラットフォームを介したUGCの発信・受容と取引実 態に関する調査	3,000
江戸川大学 メディアコミュニケーション学部情報文 化学科 講師 松尾 由美	ながらスマホ育児の悪影響を防ぐ保護者啓発プログラムの開発	1,375
九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター 特任准教授 錦谷 まりこ	SNSを介した高齢者の行動変容と孤立・孤独感の評価研究	1,450
法政大学 社会学部 准教授 土橋 臣吾	デジタルメディア利用のライフヒストリー研究	530
立教大学 社会デザイン研究所 研究員 真田 尚剛	Jアラート(全国瞬時警報システム)による国民保護の現状と課 題	730
大阪成蹊大学 教育学部看護学部設置準備室 講師 石川 信仁	地域在宅高齢者支援に向けたハイブリッド家庭訪問教育教材モ デルの開発	1,130
佛教大学 社会学部公共政策学科 准教授 三重野 雄太郎	不正指令電磁的記録に関する罪をめぐる総合的研究	550
成城大学 法学部 教授 村上 裕章	個人情報保護のための法的規制手法に関する研究	1,150
信州大学 学術研究院教育学系 教授 島田 英昭	学校防災マニュアルのクラウド化とその普及—特別支援学校を事 例として—	445
東京大学 大学院新領域創成科学研究 科・自然環境学専攻 講師 中村 和彦	森林音のエンタテインメント性を向上させる音楽演奏とインター ネット配信	807

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
山形大学 人文社会科学部 准教授 小林 正法	オンライン心理学実験・調査環境の構築と検証：本邦での普及を目指して	740

技術分野

〈敬称略〉

合計 45 件 63,339 千円

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 准教授 成田 匡輝	ビッグデータ化したサイバー攻撃バケットを視覚化するための情報システムの開発	700
長崎県立大学 情報システム学部 情報システム学科 教授 平岡 透	復元誤差によるノンフォトリアリスティックレンダリングの開発	1,000
室蘭工業大学 もの創造系領域 教授 水上 雅人	自律移動マイクロロボット群制御のための機械学習によるロボスト自己位置推定	1,200
九州工業大学 情報工学研究院 情報・通信工学研究系 助教 邵 成龍	ユビキタスセンシングのためのLoRaWANによる近接検知・広域測位技術	1,600
筑波大学 システム情報系 助教 家永 直人	MoCapによらない三次元空間における身振りの自動位置推定システムの提案	2,300
北海道大学大学院 情報科学研究院 准教授 藤澤 剛	機械学習設計技術による量子情報通信向けSiN導波路光パワー分岐素子の研究	1,500
東京都立大学 システムデザイン研究科 特別先導教授 石川 博	AIビッグデータ応用における仮説解釈説明の構造探求と関連情報通信技術の体系化	1,500
明星大学 情報学部 情報学科 准教授 植木 一也	新しい映像・テキストの対応付け方法による映像検索の問題点の解決	2,431
国立大学法人名古屋工業大学 工学研究科 工学専攻 情報工学系プログラム 准教授 松井 俊浩	自律ロボット・IoT 機器用メッセージ指向ミドルウェア上の非集中型最適化基盤	957
日本大学 工学部・情報工学科 教授 源田 浩一	自律移動ロボット群を用いたフレキシブル通信ネットワーク構成方法	1,000
東北大学 電気通信研究所 准教授 横田 信英	光無線通信とFMCW LiDARを両立する集積光デバイスの研究	1,500
早稲田大学 理工学術院総合研究所 次席研究員(研究院講師) 孫 鶴鳴	学習型静止画像圧縮の実用化に関する研究	1,000
阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 教授 岡本 浩行	プラズモニクスとフォトニクスのセルフイメージング活用ハイブリッド通信デバイス開発	1,730

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
筑波大学 システム情報系情報工学科 准教授 西出 隆志	プライバシー保護型データ解析手法の計算高速化に関する研究	861
沼津工業高等専門学校 制御情報工学科 助教 金子 裕哉	室内3Dモデルを用いた通信環境シミュレーションによる電波反射板の設置位置最適化	1,000
長野工業高等専門学校 工学科 助教 力丸 彩奈	スマートスペース実現に向けた小型デバイスを用いた動作判定のための研究	2,769
東京理科大学 工学部・電気工学科 准教授 丸田 一輝	多様なアンテナ配置形態における Massive MIMO 伝送技術の開拓	1,500
東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 助教 原 郁紀	グラントフリー非直交多元接続における高精度な周波数オフセット補償法の開発	1,000
国立大学法人千葉大学 大学院工学研究院 教授 安 昌俊	画像化手法による超多接続の通信環境推定とGANによるAI学習データ生成・拡張法	2,664
国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授 藤原 幸一	超短時間心拍変動解析によるウェアラブル心房細動重症度診断クラウドAIの開発	2,900
三重大学 大学院工学研究科電気電子工学専攻 准教授 松井 龍之介	プリントドエレクトロニクスによる超薄型電波吸収メタマテリアルの開発	1,750
千葉大学 大学院工学研究院 教授 川本 一彦	ロバスト IoT × AI のための深層防御システムの研究調査	880
秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 電気・電子・情報系 講師 菅原 英子	マイクロ波散乱波による物体内部の物質推定法の医療診断システムへの応用	1,500
千葉工業大学 先進工学部知能メディア工学科 教授 宮田 高道	線形化した知覚品質予測と Stein の不偏リスク推定による画像復元手法の研究	750
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 准教授 劉 志	連合強化学習を用いた点群映像ストリーミングに関する研究	1,250
徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 准教授 宮崎 亮一	観測信号のみを用いた教師なし DNN 音声強調に関する研究	1,300
茨城大学大学院 理工学研究科 情報科学領域 講師 小澤 佑介	多元接続型可視光ワイヤレス給電通信による完全ワイヤレス海中ドローンネットワークに関する研究	1,722
東海大学 情報理工学部コンピュータ応用工学科 准教授 村松 聡	人間-農作物の相互連携型スマート農業における農作物アピアランスに基づく土壌養分推定の検討	1,600
神戸大学 大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 助教 葛野 弘樹	オペレーティングシステムにおける特権昇格攻撃防止を目指すセキュリティ機構の研究	900

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
九州大学 大学院システム情報科学研究 院・情報エレクトロニクス部門 助教 カーリヤワサム アミラ	光アクセスネットワークにおける適応変調の実装と低消費電力化に関する研究	1,711
一橋大学 情報基盤センター 講師 中田 亮太郎	公開コンテナイメージを利用したサイバーレンジのシナリオ開発の研究	2,300
香川大学 創造工学部 准教授 石井 光治	みちびき信号を含む GNSS 擬似信号生成とスプーフィング対策の研究開発	1,300
鶴岡工業高等専門学校 創造工学科 情報コース 准教授 金 帝演	ペット用熱中症予防システムの開発	1,148
群馬大学 総合情報メディアセンター 講師 小川 康一	運用管理者の視点と経験を活用する自動ラック監視システムの開発	1,150
長崎大学 大学院工学研究科 技術専門職員 山下 優	異常肺音識別における音響モデル学習のためのデータベース拡張法の検討	400
福岡工業大学 工学部・電子情報工学科 助教 田村 瞳	Society5.0 実現のためのIoT/CPSにおけるアプリケーション・トラヒックの特性分析と推定	1500
慶應義塾大学 電気情報工学科 専任講師 吉岡 健太郎	新規アナログ回路技術を用いたインメモリ演算回路の研究	1000
鹿屋体育大学 スポーツ情報センター 助教 迫田 和之	大容量無線通信に用いる新たなBP信号検出へのDNNを用いた学習の応用	835
東京工業大学 科学技術創成研究院未来産業技術研 究所 助教 李 尚曄	リモートワークセキュリティ強化のためのマルチバンド5G電波遮蔽シートの研究	1500
秋田工業高等専門学校 創造システム工学科電気・電子・情報 系 教授 伊藤 桂一	高誘電率誘電体線路を用いた次世代ミリ波通信用小型広帯域アンテナシステムの開発	750
東京電機大学 システムデザイン工学部 デザイン工学科 准教授 齋藤 健太郎	ロボット・ドローンによる無線ネットワークの管理手法	1500
大阪府立大学 大学院 工学研究科 電気情報系専攻 助教 江 易翰	RISを用いたOTA連合学習における省エネ技術の開発	1181
北海道大学 大学院工学研究院・応用 物理学部門 助教 迫田 将仁	サイズ効果モット絶縁体を利用した低エネルギー FETの開発	1500
室蘭工業大学 大学院工学研究科 文部科学省卓越研究員(助教) 李 鶴	災害に強いIoTシステムの研究開発	1500
福知山公立大学 情報学部 講師 河合 宏紀	絹織物の3Dアニメーションデジタルアーカイブと感性検索システムの開発	1300

合計 27 件 52,044 千円

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター 准教授 土屋 雅稔	推論の根拠を提示できる矛盾検出テストセットの研究	1,848
豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 助教 日根 恭子	バーチャルリアリティにおける視点自由度と知覚の正確さの関連の検討	3,000
北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教 王 子洋	一対多遠隔指示の指示者支援技術—作業者の戸惑い・順調レベル提示による負荷の低減	2,800
大阪大学大学院人間科学研究科 臨床死生学・老年行動学講座 博士後期課程1年生 李 曉旋	高齢者の認知機能・運動機能・動体視力の向上を支援するVRトレーニングシステム	1,050
九州大学 大学院芸術工学研究院音響設計部門 助教 若宮 幸平	調音・音声データベースの構築	2,947
国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学 商学部 社会情報学科 教授 木村 泰知	表形式データおよびテキストを対象とした根拠抽出に関する研究	2,900
早稲田大学 データ科学センター 准教授 堀井 俊佑	観察データと実験データによる統計的因果推論のための実験計画法に関する研究	1,150
東京大学 大学院総合文化研究科・広域科学専攻・広域システム科学系 教授 植田 一博	人工物の形状と動きがもつ適度なヒトらしさの重要性：人工物設計に向けた基礎研究	1,150
九州大学 大学院医学研究院 講師 菊地 君与	母子遠隔健診に関する合併症リスク予測システムの開発研究	2,253
東京電機大学 工学部電子システム工学科 EH 田所研究室 研究員 中川 秀紀	妊産婦を対象とした軽度精神疾患検出データベースシステムの構築	970
日本薬科大学 薬学部 医療ビジネス薬科学科 教授 村井 はるか	人工知能を用いた高齢者の同意能力評価と合意形成支援に関する研究	2,860
慶應義塾大学 大学院 経営管理研究科 教授 高橋 大志	高頻度データ分析を通じたニュース情報が投資家行動に与える影響の解明	2,530
立命館大学 情報理工学研究科 博士後期課程学生 西本 騰	遠隔医療学習を可能とする医療教育シミュレータの開発	2,940
筑波大学 図書館情報メディア系 助教 小野 永貴	中学・高校での探究学習指導を効率化する「プレゼンテーション指導AI」の研究開発	990

所属・氏名	調査研究テーマ	助成金額 (千円)
東京工科大学 メディア学部 准教授 山崎 晶子	遠隔代理ロボットによる人々の共同観賞の支援：共同記憶と共同経験の組織化を中心に	2,840
東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 研究助手 山下 知子	スマートデバイスを用いた子どもの足部骨格マルチセンシングシステムの開発	1,441
東京海洋大学 学術研究院 海洋環境科学部門 准教授 片野 俊也	シチズンサイエンスのためのスマートフォンを利用した赤潮観測体制の構築	1,499
神奈川工科大学 情報学部 情報工学科 教授 田中 博	手話動作セグメンテーションと言語的推論に基づく認識手法の確立とその応用	1,886
東京都立大学 システムデザイン学部 准教授 福井 隆雄	VR環境の対人インタラクションにおける発達傾向と文化差の相互作用	1,700
奈良女子大学 研究院工学系 准教授 佐藤 克成	「ぬくもり」の相互伝達が可能な遠隔コミュニケーションによる生きがい創出	2,000
筑波大学 システム情報系・情報工学域 准教授 蔡 東生	浄瑠璃人形遣いとウェアラブルロボットアームの協調インタラクションに関する研究	2,893
九州大学 ユニス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター 学術研究員 Abedin Nuren	SDGs#5.4 を実現に途上国ファミリーライドシェアモデルについて調査研究	1,900
東京都市大学 メディア情報学部・情報システム学科 教授 市野 順子	バーチャル空間で親密な人間関係の形成を促すためのノンバーバルキューの提示方法	2,500
国立研究開発法人理化学研究所 情報統合本部・ガーディアンロボットプロジェクト・心理プロセス研究チーム 研究員 難波 修史	仮想空間社会の実現に向けた表情データベースの構築および表情検出システムの開発	1250
北里大学病院 医学部救命救急医学 助教 服部 潤	119 電話通報からの脱却を目指して：AI活用のためのデジタル視覚データ基盤の実証研究	1225
岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科 学生(博士後期課程) 山下 園	ネットワークを介した協調作曲におけるアノテーションの利用可能性に関する研究	572
東京海洋大学 学術研究院 海洋環境科学部門 准教授 吉田 毅郎	AIによる水中カメラ画像解析を用いた複合養殖生物のモニタリング	950

2 海外研究・特別講義開設援助

(1) 特別講義開設援助 [開講期間] 2023年4月～2024年3月

(概要)

2022年度募集の特別講義開設援助については、新規2件、申込額約126万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、新規1件、約60万円が援助案件として採択された。また、2021年度、2020年度採択案件の継続分として、3件323万円が認められ、全体では、4件、約383万円が2022年度の援助案件として採択された。

2022年度 特別講義開設援助

合計 4件 3,825千円

大学名	特別講義名	援助金額 (千円)
筑波大学	情報システム特別講義 A	600
金沢学院大学	「デジタル経済」	1,100
東京電機大学	Field Based Learning I、II	930
摂南大学	データサイエンス展開	1,195

(2) 長期海外研究援助 [渡航期間] 2022年10月～2023年9月

(概要)

2022年度募集の長期海外研究援助については、4件、申込額1478万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て2件、申込額707万円の援助案件として採択された。

2022年度 長期海外研究援助

〈敬称略〉

合計 2件 7,069千円

申込者	研究テーマ、受入れ機関等	援助金額 (千円)
東京大学 工学系研究科機械工学専攻 講師 伊藤 太久磨	住宅街環境における自律・通信併用型モビリティの研究 アメリカ ミシガン大学社会基盤工学専攻 2023年1月～2023年9月	3,386

九州大学 大学院法学研究院 准教授 成原 慧	デジタル時代における仮想世界／現実世界のガバナンス アメリカ合衆国／オーストリア ハーバード大学／ウィーン大学 Woodrow Hartzog・Professor of Law and Computer Science Nikolaus Forgo・Professor of IT and IP Law, Head of the Department of Innovation and Digitalisation in Law 2023年8月～2024年8月	3,683
------------------------------	---	-------

(3) 海外渡航旅費援助 [渡航期間] 2022年5月～2023年8月

(概要)

2022年度募集の海外渡航旅費援助については、申込が33件、申込額約814万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、19件、約433万円が2022年度の援助案件として採択された。新型コロナウイルス禍からの回復が顕著に見られた。

2022年度 海外渡航旅費援助

合計 19件 4,334千円

申込時期	援助件数	援助金額 (千円)
4月期	3	630
6月期	4	938
8月期	4	906
10月期	3	630
12月期	2	400
2月期	3	830

3 普及・利用促進活動援助

(1) シンポジウム・セミナー等開催援助 [実施期間] 2022年10月～2024年3月

(概要)

2022年度のシンポジウム・セミナー等開催援助については、学術分野と社会貢献分野の合計で、30件、約2795万円の援助申込があり、19件、約1790万円が採択された。採択件数・金額は昨年度と同等となった。

① シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）

シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）については、2022年度5月期及び11月期に募集を行い、25件、申込額2310万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、16件、1520万円が2022年度の援助案件として採択された。

2022年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野

〈敬称略〉

合計 8 件 7,500 千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
第35回国際電波科学連合総会 (URSI GASS 2023) 実行委員会 委員長 小林 一哉	第35回国際電波科学連合総会	1,000
IFAC World Congress 2023 実行委員会 実行委員長 井村 順一	IFAC World Congress 2023, Yokohama, JAPAN	1,000
VRST2022 実行委員会 実行委員長 小池 崇文	28th ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology (VRST 2022)	1,000
電気学会センサ・マイクロマシン部門 第39回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム実行委員会 実行委員長 磯部 良彦	第39回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	1,000
APMC 2022 実行委員会 実行委員長 古神 義則	2022年 アジア・パシフィックマイクロ波会議 (APMC 2022)	1,000
第22回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議組織委員会 組織委員長 小西 聡	第22回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議	1,000
第52回国際騒音制御工学会議組織委員会 東京大学生産技術研究所・教授 坂本 慎一	第52回国際騒音制御工学会議 (Inter-Noise 2023)	1,000
国際会議 ISITA2022 実行委員会 ISITA2022 General Co-Chair 古賀 弘樹	2022 International Symposium on Information Theory (ISITA2022)	500

2022年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野

〈敬称略〉

合計 8 件 7,700 千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
AWAD2023 組織委員会 AWAD2023 組織委員長 大見 俊一郎	第30回先端半導体デバイスに関する アジア太平洋ワークショップ (AWAD2023)	800
公益社団法人 応用物理 学会 (微小光学研究会) 微小光学研究会 代表 伊賀 健一	第28回微小光学国際会議 (The 28th Microoptics Conference, MOC2023)	1,000
第46回情報理論とその応用シンポジウム 実行委員会 上智大学理工学部 教授 澁谷 智治	第46回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2023)	1,000
PAKDD2023 組織委員会 代表 櫻井 保志	PAKDD2023	1,000
電子情報通信学会情報セキュリティ研究会 / 情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会 副委員長 / 幹事 花岡 浩司 / 千田 悟一郎	第18回セキュリティ国際ワークショップ (IWSEC2023)	900
OFS日本委員会 運営委員長 中村 健太郎	第28回光ファイバセンサ国際会議	1,000
ISAAC2023 組織委員会 組織委員長 牧野 和久	34th International Symposium on Algorithms and Computation 2023 (ISAAC2023)	1,000
東京農工大学 准教授 山田 浩史	The 29th IEEE International Conference on Embedded and Realtime Computing Systems and Applications / The 12th IEEE Non- Volatile Memory Systems and Applications Symposium	1,000

② シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）

シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）については、2022年度5月期及び11月期に募集を行い、5件、申込額約485万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、3件、約270万円が2022年度の援助案件として採択された。

2022年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野 〈敬称略〉

合計 3件 2,700千円

代表者氏名	会議等名称	援助金額 (千円)
一般社団法人ことばのまなび工房 代表理事 若林 茂則	FY 2023 SMILE (Students MeetInternationally through Language Education) Symposium	900
特定非営利活動法人 報道実務家フォーラム 理事長 瀬川 至朗	報道実務家フォーラム2023	1,000
オンライン防災 代表 黒田 典子	オンライン防災2024 ～命を守るコミュニティ～	800

(2) 学術研究出版助成 [出版時期] 2022年10月～2023年9月

(概要)

学術研究の成果を公表するための書籍の出版を助成する学術研究出版助成については、2022年度は3件、598万円の助成申込があり、審査委員会による審査を経て、3件589万円が2022年度の助成案件として採択された。

2022年度 学術研究出版助成 〈敬称略〉

合計 3件 5,894千円

申込者 所属・役職・氏名	単著/ 共著	書名	助成額 (千円)
早稲田大学 デジタル・ソサエティ研究所 招聘研究員 小津 敦	単著	The Impact of Cloud Computing on the Japanese Macroeconomy	2,000
明治大学 政治経済学部・経済学科 専任教授 浅井 澄子	単著	オープンアクセスジャーナルの実証分析	2,000
福山大学 人間文化学部メディア・映像学科 講師 丸山 友美	単著	日本の初期テレビドキュメンタリー史	1,894

(3) 国際交流人材育成援助 [援助期間] 2023年4月～2024年3月

(概要)

2022年度募集の国際交流人材育成援助については、新規3件、継続2件、申込額750万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て3件、391万円が2022年度の援助案件として採択された。

2022年度 国際交流人材育成援助

〈敬称略〉

合計 **3件** **3,910千円**

代表者氏名	事業名称	援助金額 (千円)
九州大学病院 国際医療部 アジア遠隔医療開発センター 病院長 中村 雅史	インドネシアの地方大学における遠隔医療技術者育成プログラム	1,810
鹿児島高専 校長 氷室 昭三	マレーシア工科大学及び鹿児島高専におけるIoT・AI(機械学習) トレーニング	1,100
岡山大学 学域長 鶴田 健二	ミャンマー・インドネシアにおける自習ツールを用いた実践的プログラミング教育の普及事業	1,000

(4) ネット社会課題対応援助 [援助期間] 2023年4月～2024年3月

(概要)

2022年度募集のネット社会課題対応援助については、新規6件、継続1件、申込額1287万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、4件、734万円が2022年度の援助案件として採択された。

2022年度 ネット社会課題対応援助

〈敬称略〉

合計 **4件** **7,340千円**

申込み機関 (大学、高等専門学校等)	事業の名称	援助金額 (千円)
名古屋大学 大学院人文学研究科 教授 梶原 義実	博物館・美術館展示における3Dモデル配信用Webシステムの開発	2,000
慶應義塾ミュージアム・commons 機構長 松田 隆美	デジタル・commonsを活用した「文化体験普及のためのリテラシー学習プログラム」の設計および実践	2,000
国立大学法人 滋賀医科大学 医学部医学科 生命科学講座(物理学) 准教授 成瀬 延康	ICTとハンズオンを併用したSDGs課題解決能力を有する人材の育成法の開発	1,340
関西大学 教授 松下 慶太	情報(ネット)社会における新しい観光振興モデル(メタ観光)の構築 ～島根県大田市の多層的な観光資源と情報通信技術活用を事例に	2,000

3. 表彰事業

電気通信普及財団賞（第38回）

（概要）

電気通信普及財団賞（第38回）については、昨年度より新設した学際研究部門を含め131件の著作や論文が選考対象となり、表彰専門部会による審査を経て、最優秀賞・入賞20件、奨励賞・特例表彰10件、合計で30件が受賞となった。賞金総額は昨年並みの約2000万円となった。

電気通信普及財団賞（第38回）の贈呈式が2023年3月22日に、帝国ホテルにおいて、ハイブリッド方式で実施された。

第38回 電気通信普及財団賞 受賞著作・論文

〈順不同、敬称略〉

※所属・役職は受賞時のもの。執筆時・投稿時の所属・役職を（ ）内に示す。

(1) テレコム人文学・社会科学賞

（概要）

テレコム人文学・社会科学賞には、28件の応募があり、その中から、入賞（本賞）2件、奨励賞3件が受賞となった。

[入賞]

「マスメディアとは何か--「影響力」の正体」

（書籍発刊：中央公論新社，2022年7月）

稲増 一憲 関西学院大学社会学部 教授

「Platform Information Transparency and Effects on Third-Party Suppliers and Offline Retailers」

（Wiley, Production and Operations Management, 2021年11月）

善如 悠介 神戸大学大学院経営学研究科 准教授
角田 侑史 神戸大学大学院経営学研究科 准教授

[奨励賞]

「現代中国の官僚組織行動 電気通信事業改革の政治過程」

（書籍発刊：法律文化社，2021年10月）

佐々木 智弘 防衛大学校人文社会科学群国際関係学科 教授

「ネット社会と民主主義--「分断」問題を調査データから検証する」

(書籍発刊：有斐閣，2021年11月)

辻 大介	大阪大学大学院人間科学研究科	准教授
鈴木 謙介	関西学院大学社会学部	准教授
北村 智	東京経済大学コミュニケーション学部	教授
小笠原盛浩	東洋大学社会学部	教授
田辺 俊介	早稲田大学文学学術院	教授
樋口 耕一	立命館大学社会学部	教授
浅野 智彦	東京学芸大学教育学部	教授
三浦 麻子	大阪大学大学院人間科学研究科	教授
河井 大介	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター	特任助教
渡辺健太郎	大阪大学大学院人間科学研究科	特任研究員
齋藤 僚介	大阪大学大学院人間科学研究科	博士後期課程3年

「ソシオテクニカル経営：人に優しいDXを目指して」

(書籍発刊：日本経済新聞出版，2022年9月)

櫻井美穂子	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター	准教授
國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部	教授

(2) テレコムシステム技術賞

(概要)

テレコムシステム技術賞には、38件の応募・推薦があり、その中から、入賞（本賞）5件、奨励賞1件が受賞となった。

[入賞]

「Learned Image Compression with Discretized Gaussian Mixture Likelihoods and Attention Modules」

(IEEE/CVF Computer Vision and Pattern Recognition Conference (CVPR), 2020年6月)

程 正雪	早稲田大学基幹理工学研究科	日本学術振興会特別研究員 (PD)
孫 鶴鳴	早稲田大学理工学術院総合研究所	次席研究員 (研究院講師)
竹内 健	早稲田大学理工学術院総合研究所	次席研究員
甲藤 二郎	早稲田大学基幹理工学部	教授

「300-GHz-Band OFDM Video Transmission with CMOS TX/RX Modules and 40 dBi Cassegrain Antenna toward 6G」

(電子情報通信学会, IEICE TRANSACTIONS on Electronics, 2021年10月)

森下 陽平	パナソニック株式会社	インダストリー社※1	技術本部	主任技師
李 尚暉	東京工業大学	科学技術創成研究院		助教
寺岡 俊浩	パナソニック株式会社	オートモーティブ社※2	インフォテインメントシステムズ事業部	主任技師
董 銳冰	情報通信研究機構	未来ICT研究所		研究員
檜野 祐一	株式会社パナソニック	システムネットワークス開発研究所	技術センター	係長
浅野 仁	株式会社パナソニック	システムネットワークス開発研究所	技術センター	主任技師
原 紳介	情報通信研究機構	未来ICT研究所		主任研究員
高野 恭弥	東京理科大学	理工学部		助教
片山 光亮	早稲田大学	大学院情報生産システム研究科		講師
坂本 剛憲	パナソニック株式会社	インダストリー社※1	技術本部	主任技師
白方 亨宗	パナソニック株式会社	インダストリー社※1	技術本部	主幹技師
滝波 浩二	パナソニック株式会社	インダストリー社※1	技術本部	課長
高橋 和晃	パナソニック株式会社	インダストリー社※1	技術本部	主幹技師
笠松 章史	情報通信研究機構	未来ICT研究所		上席研究員
吉田 毅	広島大学	大学院先端物質科学研究科		准教授
天川 修平	広島大学	大学院先端物質科学研究科		准教授
藤島 実	広島大学	大学院先端物質科学研究科		教授

※1現・パナソニック インダストリー株式会社
 ※2現・パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

「Detecting Deepfakes with Self-Blended Images」

(IEEE/CVF Conference on Computer Vision and Pattern Recognition (CVPR), 2022年6月)

塩原 楓	東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻	博士課程1年
山崎 俊彦	東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻	准教授

「High-frequency and intrinsically stretchable polymer diodes」

(Nature Publishing Group, Nature, 2021年12月)

松久 直司	慶應義塾大学理工学部電気情報工学科	専任講師
Simiao Niu	Chemical Engineering, Stanford University	Postdoctoral scholar
Stephen J. K. O' Neill	Chemical Engineering, Stanford University	Visiting student
Jiheong Kang	Chemical Engineering, Stanford University	Postdoctoral scholar
落合 優登	Chemical Engineering, Stanford University	Visiting student
勝又 徹	旭化成株式会社 研究・開発本部	高機能マテリアルズ技術開発センター 光学材料開発部 主査
Hung-Chin Wu	Chemical Engineering, Stanford University	Postdoctoral scholar
芦沢 実	東京工業大学物質理工学院	助教
Ging-Ji Nathan Wang	Chemical Engineering, Stanford University	PhD Student
Donglai Zhong	Chemical Engineering, Stanford University	Postdoctoral scholar
Xuelin Wang	Chemical Engineering, Stanford University	Visiting Student
Xiwen Gong	Chemical Engineering, Stanford University	Postdoctoral scholar
Rui Ning	Materials Science and Engineering, Stanford University	Master student
Huaxin Gong	Chemical Engineering, Stanford University	PhD student

Insang You	Chemical Engineering, Stanford University, Visiting student
Yu Zheng	Chemical Engineering, Stanford University, PhD student
Zhitao Zhang	Chemical Engineering, Stanford University, Postdoctoral scholar
Jeffrey B.-H. Tok	Chemical Engineering, Stanford University, Laboratory director
Xiaodong Chen	Materials Science and Engineering, Nanyang Technological University, President's Chair Professor
Zhenan Bao	Chemical Engineering, Stanford University, K.K. Lee Professor

「Unsupervised Learning of Depth and Depth-of-Field Effect from Natural Images with Aperture Rendering Generative Adversarial Networks」

(IEEE/CVF Conference on Computer Vision and Pattern Recognition (CVPR), 2021年6月)

金子 卓弘 日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所 特別研究員

[奨励賞]

「Fabrication of low-loss quasi-single-mode PPLN waveguide and its application to a modularized broadband high-level squeezer」

(American Institute of Physics, Applied Physics Letters, 2021年12月)

柏崎 貴大	日本電信電話株式会社 先端集積デバイス研究所 機能材料研究部 異種材料融合デバイス研究G 研究員
山嶋 大地	東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻
高梨 直人	東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻
井上 飛鳥	日本電信電話株式会社 先端集積デバイス研究所 機能材料研究部 異種材料融合デバイス研究G 研究員
梅木 毅伺	日本電信電話株式会社 先端集積デバイス研究所 機能材料研究部 異種材料融合デバイス研究G 特別研究員
古澤 明	東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻 教授 理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 副センター長

(3) テレコム学際研究賞

テレコム学際研究賞には、25件の応募・推薦があり、その中から、入賞（本賞）3件、奨励賞2件、特例表彰1件が受賞となった。

[入賞]

「I Hear My Voice; Therefore I Spoke: The Sense of Agency Over Speech Is Enhanced by Hearing One's Own Voice」

(SAGE Publications Inc., Psychological Science, 2022年8月)

大畑 龍	東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室	特任研究員
浅井 智久	国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 認知機構研究所	主任研究員
今泉 修	お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所	准教授
今水 寛	東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室	教授

「研究利用可能な小論文データに基づく参照文書を利用した小論文採点手法の開発」

(情報処理学会, 情報処理学会論文誌, 2021年9月)

竹内 孔一	岡山大学学術研究院自然科学学域	准教授
大野 雅幸	住友電工情報システム株式会社	テクニカル・コンサルタント
泉仁 宏太	株式会社NTTデータMSE	社員
田口 雅弘	岡山大学学術研究院社会文化科学学域	教授
稲田 佳彦	岡山大学学術研究院教育学域	教授
飯塚 誠也	岡山大学全学教育・学生支援機構	教授
阿保 達彦	岡山大学学術研究院自然科学学域	教授
上田 均	岡山大学学術研究院自然科学学域	教授

「Kiite Cafe: A Web Service for Getting Together Virtually to Listen to Music」

(22nd International Society for Music Information Retrieval Conference (ISMIR 2021), 2021年11月)

佃 洸撰	国立研究開発法人産業技術総合研究所	主任研究員
石田 啓介	国立研究開発法人産業技術総合研究所	テクニカルスタッフ
濱崎 雅弘	国立研究開発法人産業技術総合研究所	研究グループ長
後藤 真孝	国立研究開発法人産業技術総合研究所	首席研究員

[奨励賞]

「AI技術と集团的労働法上の課題

—集团的利益調整の位置付けと不当労働行為制度の解釈に着目して—

(労働開発研究会, 季刊労働法275号, 2021年12月)

岡村 優希	株式会社情報通信総合研究所	主任研究員／同志社大学 研究員
-------	---------------	-----------------

「Confidence modulates the decodability of scene prediction during partially-observable maze exploration in humans」

(Nature Portfolio, Communications Biology, 2022年4月)

片山 梨沙	京都大学大学院情報学研究科	博士後期課程1年
吉田 和子	オックスフォード大学Nuffield医療神経科学部	研究員
石井 信	京都大学大学院情報学研究科	教授

[特例表彰]

「特集「インフォデミック時代のAIとサイバーセキュリティ」

(映像情報メディア学会, 映像情報メディア学会誌, 2022年7月)

越前 功	国立情報学研究所 情報社会相関研究系	教授
馬場口 登	大阪大学 データビリティフロンティア機構	特任教授
	福井工業大学	教授
笹原 和俊	東京工業大学 環境・社会理工学院	准教授
中島 悠太	大阪大学 データビリティフロンティア機構	准教授
Trung-Nghia Le	国立情報学研究所 情報社会相関研究系	特任助教
Huy Hong Nguyen	国立情報学研究所 情報社会相関研究系	特任研究員
山岸 順一	国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系	教授
Canasai Kruengkrai	国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系	特任助教
李 良知	大阪大学 データビリティフロンティア機構	特任助教
王 博文	大阪大学 博士後期課程3年	
宮崎 邦洋	東京大学 博士後期課程3年	
小林 正啓	大阪弁護士会	弁護士

(4) テレコム人文学・社会科学学生賞

テレコム人文学・社会科学学生賞には、9件の応募があり、その中から、奨励賞2件が受賞となった。

[奨励賞]

**「対話的構築主義によるジャーナリズムの戦争証言インタビューの再検討
～NHK戦争証言アーカイブスを事例として～」**

(日本社会学会, 社会学評論 72 卷 3 号, 2021 年 12 月)

佐藤 信吾	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	博士課程3年
-------	----------------------	--------

「オンライン脱抑制：構成概念の再考と新たなモデルの提案」

(心理学評論刊行会, 心理学評論第65号, 2022年10月)

温 若寒	大阪大学大学院人間科学研究科	博士後期課程1年
三浦 麻子	大阪大学大学院人間科学研究科	教授

(5) テレコムシステム技術学生賞

テレコムシステム技術学生賞には、28件の応募があり、その中から、最優秀賞1件、入賞7件が受賞となった。

[最優秀賞]

「Twin Meander Coil: Sensitive Readout of Battery-free On-body Wireless Sensors Using Body-scale Meander Coils」

(Proceedings of the ACM on Interactive, Mobile, Wearable and Ubiquitous Technologies, 2021年12月)

高橋 亮 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 博士後期課程2年
共著者 雪田 和歌子、笹谷 拓也、横田 知之、染谷 隆夫、川原 圭博

[入賞]

「Blind Multiple Measurement Vector AMP Based on Expectation Maximization for Grant-Free NOMA」

(IEEE, IEEE Wireless Communications Letters, 2022年6月)

原 郁紀 電気通信大学 先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター
博士後期課程3年
共著者 石橋 功至

「A General Destriping Framework for Remote Sensing Images Using Flatness Constraint」

(IEEE, IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing, 2022年2月)

長沼 一輝 東京工業大学情報理工学院大学院 修士課程2年
共著者 小野 峻佑

「Mobility-aware User Association Strategy for IRS-aided mm-wave Multibeam Transmission Towards 6G」

(IEEE, IEEE Journal on Selected Areas in Communications, 2022年5月)

橋田 紘明 東北大学大学院情報科学研究科 博士後期課程1年
共著者 川本 雄一、加藤 寧、岩渕 匡史、村上 友規

「Self-Supervised Contrastive Learning for Singing Voices」

(IEEE Press, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing, 2022年4月)

矢倉 大夢 筑波大学大学院システム情報工学研究群
知能機能システム学位プログラム 博士後期課程2年
共著者 渡邊 研斗、後藤 真孝

「PoF: Post-Training of Feature Extractor for Improving Generalization」

(ICML2022, 2022年7月)

山田 陵太 東京工業大学情報理工学院情報工学系知能情報コース 修士課程1年
共著者 佐藤 育郎、田中 正行、井上 中順、川上 玲

「Time-Frequency-Bin-Wise Linear Combination of Beamformers for Distortionless Signal Enhancement」

(IEEE/ACM, IEEE/ACM Transactions on Audio, Speech, and Language Processing,
2021年11月)

山岡 洸瑛 東京都立大学 システムデザイン研究科
情報科学域 博士後期課程2年
共著者 小野 順貴、牧野 昭二

「Image reconstruction with Transformer for mask-based lensless imaging」

(The Optical Society, Optics Letters, 2022年4月)

潘 秀曦 (Pan Xiuxi) 東京工業大学工学院 博士後期課程3年
共著者 Chen Xiao、武山 彩織、山口 雅浩

(6) テレコム学際研究学生賞

テレコム学際研究学生賞には、3件の応募・推薦があり、その中から、入賞2件、奨励賞1件が受賞となった。

[入賞]

「Gaze+Lip: Rapid, Precise and Expressive interactions Combining Gaze Input and Silent Speech Commands for Hands-free Smart TV Control」

(The 2021 ACM Symposium of Eye Tracking Research & Applications, 2021年5月)

蘇 子雄 東京大学大学院学際情報学府総合分析情報学コース 修士課程1年
共著者 張 鑫磊、木村 直紀、暦本 純一

「Wi-CaL: WiFi Sensing and Machine Learning Based Device-Free Crowd Counting and Localization」

(IEEE, IEEE Access, 2022年3月)

CHOI HYUCKJIN 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 博士後期課程3年共著者
共著者 藤本 まなと、松井 智一、三崎 慎也、安本 慶一

[奨励賞]

「ZEL: Net-Zero-Energy Lifelogging System using Heterogeneous Energy Harvesters」

(The 20th International Conference on Pervasive Computing and Communications (IEEE PerCom 2022),
2022年3月)

有田 充 九州大学大学院システム情報科学府情報理工学専攻 修士課程1年
共著者 中村 優吾、石田 繁巳、荒川 豊


公益財団法人 電気通信普及財団
第38回電気通信普及財団賞贈呈式・2022年度助成援助金贈呈式

2023年3月22日（水） 開会 10時30分～ 帝国ホテル「桜の間」(本館4階) にてハイブリッド開催

贈呈式 次第

- | | | | |
|---|--------------------------|---|-----------------------------------|
| 1 | 理事長挨拶 | 理事長 | 秋本 芳徳 |
| 2 | 来賓挨拶 | 総務省総合通信基盤局長
日本電信電話株式会社
執行役員 経営企画部門長
公益財団法人電気通信普及財団 | 竹村 晃一 様

評議員 谷山 賢 様 |
| 3 | 第38回電気通信普及財団賞関係 | | |
| | (1) 選考経過報告 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学部門 | 廣松 毅 | 表彰専門部会座長 |
| | ・テレコムシステム技術部門 | 浅見 徹 | 表彰専門部会座長 |
| | ・テレコム学際研究部門 | 高畑 文雄 | 表彰専門部会座長 |
| | (2) 表彰状贈呈 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学賞 | | |
| | ・テレコム人文学・社会科学賞学生賞 | | |
| | ・テレコムシステム技術賞 | | |
| | ・テレコムシステム技術賞学生賞 | | |
| | ・テレコム学際研究賞 | | |
| | ・テレコム学際研究賞学生賞 | | |
| 4 | 2022年度助成援助関係 | | |
| | (1) 審査概況報告 | | |
| | | 廣松 毅 | 審査委員長 |
| | (2) 助成・援助対象者披露・代表者への目録贈呈 | | |
| 5 | 財団賞受賞者による講演 | | |
| | テレコム人文学・社会科学賞入賞 | 稲増 一憲 氏 | |
| | テレコムシステム技術賞入賞 | 孫 鶴鳴 氏 | |
| | テレコム学際研究賞入賞 | 今水 寛 氏 | |

閉会

贈呈式の模様

第38回電気通信普及財団賞贈呈式 2022年度助成援助金贈呈式



電気通信普及財団 秋本 芳徳 理事長
挨拶



総務省総合通信基盤局長 竹村 晃一 氏
来賓挨拶



日本電信電話株式会社 執行役員
経営企画担当担当部長 谷山 賢 氏
来賓挨拶



廣松 毅 審査委員長 表彰専門部会座長



会場の様子



会場の様子



テレコム人文学・社会科学賞
入賞 角田 侑史 氏



テレコムシステム技術賞
入賞 塩原 楓 氏



テレコムシステム技術賞
入賞 松久 直司 氏



テレコム学際研究賞
入賞 竹内 孔一 氏



テレコム学際研究賞
奨励賞 片山 梨沙 氏



テレコム人文学・社会科学学生賞
奨励賞 温 若寒 氏



テレコムシステム技術学生賞
入賞 原 郁紀 氏



テレコムシステム技術学生賞
入賞 山岡 洸瑛 氏



テレコム学際研究学生賞
入賞 蘇 子雄 氏



2022年度研究調査助成対象者（左から）
稲葉 緑 氏 宮田 高道 氏 山下 知子 氏



テレコム人文学・社会科学賞受賞者による講演
入賞 関西学院大学社会学部 教授 稲増 一憲 氏





テレコムシステム技術賞受賞者による講演
入賞 早稲田大学理工学術院総合研究所 次席研究員(研究院講師) 孫 鶴鳴 氏



テレコム学際研究賞受賞者による講演
入賞 東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室 教授 今水 寛 氏



懇親会の様子

4. これまでの活動実績

区分	西暦	研究調査助成		シンポジウム開催等への援助		特別講義開設援助		長期海外研究援助		海外渡航旅費援助	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
昭和59年度	1984	29	66,600	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和60年度	1985	59	121,740	11	40,500	3	8,700	—	—	23	9,550
昭和61年度	1986	77	143,761	18	56,268	6	21,370	—	—	32	12,050
昭和62年度	1987	79	107,600	24	49,900	8	29,690	—	—	30	12,400
昭和63年度	1988	68	95,428	9	22,500	13	43,020	2	7,632	44	16,135
平成元年度	1989	63	103,002	15	33,300	16	51,870	2	8,147	37	13,338
平成2年度	1990	69	101,929	14	31,700	17	49,482	4	13,718	75	28,340
平成3年度	1991	85	129,924	15	32,800	17	43,210	2	9,563	58	20,090
平成4年度	1992	96	140,500	23	41,404	13	36,740	4	14,358	138	45,540
平成5年度	1993	79	106,050	17	21,100	14	29,231	6	19,499	112	36,545
平成6年度	1994	105	120,500	26	33,300	13	26,920	6	24,211	191	63,493
平成7年度	1995	101	99,550	32	27,300	15	27,330	7	23,110	142	42,765
平成8年度	1996	109	102,810	26	20,600	13	28,720	7	22,280	173	46,240
平成9年度	1997	109	119,330	33	30,050	12	23,920	7	25,530	179	44,360
平成10年度	1998	102	111,440	35	32,575	14	27,120	6	20,440	194	48,840
平成11年度	1999	101	114,250	19	22,090	13	23,190	7	23,938	142	33,520
平成12年度	2000	92	107,589	19	18,680	15	23,935	6	20,310	189	43,680
平成13年度	2001	75	87,988	16	15,585	14	21,603	4	15,456	161	35,600
平成14年度	2002	68	74,150	21	14,600	14	20,562	3	11,592	110	23,370
平成15年度	2003	70	75,350	17	15,700	12	17,084	2	6,960	104	23,690
平成16年度	2004	69	75,380	15	12,488	6	8,251	3	8,960	102	24,040
平成17年度	2005	68	73,026	11	10,706	6	9,826	3	9,420	77	17,790
平成18年度	2006	67	72,594	9	6,700	5	7,883	3	10,350	77	16,680
平成19年度	2007	70	74,460	16	13,100	8	10,480	4	10,750	68	15,500
平成20年度	2008	76	68,147	8	7,539	6	6,642	3	10,771	77	17,060
平成21年度	2009	82	70,471	14	15,000	8	8,327	3	8,502	54	12,420
平成22年度	2010	83	74,852	9	10,000	6	7,296	1	2,634	45	10,410
平成23年度	2011	83	74,919	16	14,900	5	5,653	3	7,627	48	10,820
平成24年度	2012	78	67,928	14	13,900	1	1,626	2	5,918	54	12,910
平成25年度	2013	87	78,676	11	11,650	2	1,475	4	10,858	59	14,530
平成26年度	2014	85	77,390	12	13,600	2	1,284	1	2,456	58	14,455
平成27年度	2015	102	93,074	18	19,100	3	2,180	4	15,070	54	12,490
平成28年度	2016	148	142,496	13	14,200	6	4,609	1	3,258	48	11,316
平成29年度	2017	146	161,791	26	27,603	5	4,188	3	4,641	51	12,080
平成30年度	2018	117	163,838	18	17,460	14	11,588	4	10,918	35	8,341
令和元年度	2019	108	145,373	23	18,360	4	2,560	5	5,963	55	12,812
令和2年度	2020	82	129,830	14	12,700	4	2,870	0	0	8	995
令和3年度	2021	79	124,629	19	18,086	4	3,525	1	3,490	2	86
令和4年度	2022	94	142,082	19	17,900	4	3,825	2	7,069	19	4,334
累計		3,360	4,040,447	675	834,944	341	657,785	125	405,399	3,125	828,615

注 この他過去に福祉機器の寄贈、図書・文献の寄贈、ボランティア援助、電気通信政策研究援助等の助成・援助実績がある。(1,513件：22.3億円)

金額単位：(千円)

国際交流人材育成援助		ネット社会課題対応援助		学術研究出版助成		表 彰		助成・援助・表彰合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
-	-	-	-	-	-	-	-	29	66,600
-	-	-	-	-	-	10	4,400	106	184,890
-	-	-	-	-	-	10	4,600	143	238,049
-	-	-	-	-	-	11	5,100	152	204,690
-	-	-	-	-	-	11	4,700	147	189,415
-	-	-	-	-	-	12	5,200	145	214,857
-	-	-	-	-	-	11	5,100	190	230,269
-	-	-	-	-	-	31	8,500	208	244,087
-	-	-	-	-	-	22	7,100	296	285,642
-	-	-	-	-	-	37	9,300	265	221,725
-	-	-	-	-	-	33	8,700	374	277,124
-	-	-	-	-	-	32	9,000	329	229,055
-	-	-	-	-	-	28	7,800	356	228,450
-	-	-	-	-	-	30	7,600	370	250,790
-	-	-	-	-	-	35	8,800	386	249,215
-	-	-	-	-	-	30	7,800	312	224,788
-	-	-	-	-	-	31	8,500	352	222,694
-	-	-	-	-	-	35	8,700	305	184,932
-	-	-	-	-	-	24	6,600	240	150,874
-	-	-	-	-	-	28	7,700	233	146,484
-	-	-	-	-	-	26	6,600	221	135,719
-	-	-	-	-	-	26	6,600	191	127,368
-	-	-	-	-	-	23	6,700	184	120,907
-	-	-	-	-	-	23	7,400	189	131,690
-	-	-	-	-	-	25	6,500	195	116,659
-	-	-	-	-	-	17	5,000	178	119,720
-	-	-	-	-	-	18	5,500	162	110,692
-	-	-	-	-	-	17	4,900	172	118,819
-	-	-	-	-	-	16	4,700	165	106,982
-	-	-	-	-	-	12	3,500	175	120,689
2	3,200	-	-	-	-	17	5,100	177	117,485
3	5,915	-	-	-	-	18	6,100	202	153,929
4	7,940	-	-	-	-	17	5,000	237	188,819
2	3,890	2	4,000	-	-	20	5,800	255	223,993
1	2,000	2	4,000	-	-	22	6,000	213	224,145
1	1,000	2	4,000	-	-	17	5,300	215	195,368
1	1,000	3	5,800	4	7,500	25	13,800	141	174,495
1	1,550	3	6,000	3	4,560	38	21,200	150	183,126
3	3,910	4	7,340	3	5,894	30	19,950	178	212,304
18	30,405	16	31,140	10	17,954	868	280,850	8,538	7,127,539

5. 決算報告

1. 貸借対照表 (3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	2022年度	2021年度	2020年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	376,354	344,230	367,550
未収金	9,848	9,020	12,675
その他	1,069	1,092	1,069
流動資産合計	387,271	354,341	381,294
2. 固定資産			
基本財産	11,025,201	11,643,634	11,566,867
特定資産	553,012	542,246	527,519
その他固定資産	7,671	9,414	10,730
固定資産合計	11,585,884	12,195,295	12,105,116
資産合計	11,973,155	12,549,636	12,486,411
II 負債の部			
1. 流動負債合計	174,722	144,836	147,331
2. 固定負債合計	35,196	36,605	23,989
負債合計	209,918	181,441	171,320
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	8,173,855	8,546,732	8,410,486
(うち基本財産への充当額)	(7,793,658)	(8,278,227)	(8,209,791)
(うち特定資産への充当額)	(380,197)	(268,506)	(200,694)
2. 一般正味財産	3,589,382	3,821,462	3,904,605
(うち基本財産への充当額)	(3,231,543)	(3,365,407)	(3,357,076)
(うち特定資産への充当額)	(137,619)	(237,136)	(302,836)
正味財産合計	11,763,237	12,368,195	12,315,091
負債及び正味財産合計	11,973,155	12,549,636	12,486,411

2. 正味財産増減計算書（4月1日～翌年3月31日）

（単位：千円）

科 目	2022年度	2021年度	2020年度
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	297,862	273,147	266,779
(2) 経常費用	397,378	356,913	342,968
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 99,517	▲ 83,766	▲ 76,189
基本財産評価損益等計	▲ 132,564	623	451,081
当期経常増減額	▲ 232,080	▲ 83,143	374,893
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 232,080	▲ 83,143	374,893
一般正味財産期首残高	3,821,462	3,904,605	3,529,713
一般正味財産期末残高	3,589,382	3,821,462	3,904,605
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	▲ 372,878	136,247	607,197
指定正味財産期首残高	8,546,732	8,410,486	7,803,289
指定正味財産期末残高	8,173,855	8,546,732	8,410,486
III 正味財産期末残高	11,763,237	12,368,195	12,315,091

6. 2023年度 役員、評議員及び審査委員名簿

理事・監事・評議員・審査委員

〈2023年7月現在〉

理事・理事長（常勤）

秋本 芳徳

理事・専務理事（常勤）

守屋 学

理事（非常勤）

城所 征可	日本電信電話株式会社 経営企画部門 経営企画担当 担当部長
酒井 善則	東京工業大学 名誉教授
岩村 有広	一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事
舟田 正之	立教大学法学部 名誉教授
吉岡 圭一	株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部 次長
若杉 敬明	一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所 理事長 東京大学 名誉教授

監事（非常勤）

藤塚 明 株式会社日本格付研究所 常勤監査役

評議員

石井 義則	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 常務理事
坂下 欣吾	株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部長
下村 知叙	通信電線線材協会 専務理事
服部 明利	日本電信電話株式会社 執行役員 経営企画部門長

審査委員会委員

[委員長]

廣松 毅 東京大学 名誉教授
情報セキュリティ大学院大学 名誉教授

[委員]

依田 高典 京都大学 大学院経済学研究科 研究科長・教授

高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授

中村 雅子 東京都市大学 メディア情報学部 教授

広瀬 啓吉 東京大学 名誉教授 / 国立情報学研究所 客員教授

山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授
電子情報通信学会 次期（2024年度）会長

表彰専門部会委員

浅見 徹 株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 代表取締役社長

井手 秀樹 慶應義塾大学 名誉教授

植松 友彦 東京工業大学 工学院 情報通信系 教授

鈴木 秀美 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 副所長 教授
大阪大学 名誉教授

高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授

廣松 毅 東京大学 名誉教授
情報セキュリティ大学院大学 名誉教授

山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授
電子情報通信学会 次期（2024年度）会長

電気通信普及財団レポート2023

発行者 公益財団法人電気通信普及財団
〒105-0003
東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階
TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

発行日 2023年7月
URL <https://www.taf.or.jp/>
E-mail jigyoubu@taf.or.jp



公益財団法人 電気通信普及財団

〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階

TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

<https://www.taf.or.jp/>